

自分だけではなく、みんなでつくる地域のつながり

金谷コミュニティ委員会など、さまざまな活動を行う鈴木さん。愛する金谷地区のために、新しいアイデアと世代間交流によって、地域を盛り上げていきます。

【コミュニティ活動の信念】

行動した結果、良い出会いにつながり、いろいろなことに取り組んでこられたと振り返る鈴木さん。活動のきっかけと、大切にしている信念を伺いました。

「定年退職前に、静岡団塊創業塾で学びました。その後、旧島田市と合併しても今ある金谷町の行事を残したいという思いから、金谷コミュニティ委員会が発足。私も加入しました。それか



らは創業塾での学びを生かし、『動く・楽しむ・出会いを大切に』をモットーに活動しています」

【地域から感じる可能性】

担い手不足の危機感を抱く一方で、新たな可能性に期待する鈴木さん。地域のつながりを具現化したような経験が、そう思わせていると話します。

「先日行われた金谷公民館



金谷コミュニティ委員会 会長
鈴木久雄さん(金谷猪土居)

ち、次の担い手になってくれると良いと思います。他にも、金谷中学校で行われた『金谷元氣プロジェクト』では、生徒からリアル野球盤（鈴木さん考案の野球盤ゲームを等身大にしたレクリエーション）

の夏祭りでは、若い人が列をつくるほどにぎわっていて、うれしくなりました。金谷に完成する新たな交流拠点も、若い人も集まる場所になってほしいですね。また、その人たちが地域活動に興味を持

を使った地域活性化策の提案を受け、パンフレットなどを作ってもらいました。中学生にも興味を持ってもらえると、は思わず、驚きましたね。若い人たちの発想で思いがけない生かし方が生まれ、うれし

かったです。リアル野球盤を通して、世代間交流ができれば面白いですね」

【人とのつながりに恵まれて】
「退職後は、市産業支援センター長なども務め、多くの人と出会うことができました。つながりの輪は広がり続け、

最近では、『チームおもしろ五和駅』に若い人が加入し、プロジェクトマップングなど、新しい活動も生まれました。過去には、コミュニティが行った『金谷の魅力発掘アイデア競争』から牧之原公園の日本夜景遺産への登録が実現しました。地域にはアイデアを聴いてもらいたくて、うずうずしている人がいる。さまざまな人の協力と工夫で、地域を盛り上げる活動ができているんです。これからも、自分も周りの人も異なる世代の人たちがそれぞれの役割を持ちながら、楽しい活動ができるように頑張っていきたいです」
地域イベントを誰もが楽しめるよう、試行錯誤を重ねる鈴木さん。その活動は、多くの人を笑顔にしています。



「合格ひまわり園」で園児と開園イベントを催す鈴木さん(手前)

Shimadajin File #138

島田 Story